

第10回総合教育会議

議 題

生徒減少期における魅力・活力ある学校づくり



さがデザイン
さがをかなる 心を育てる

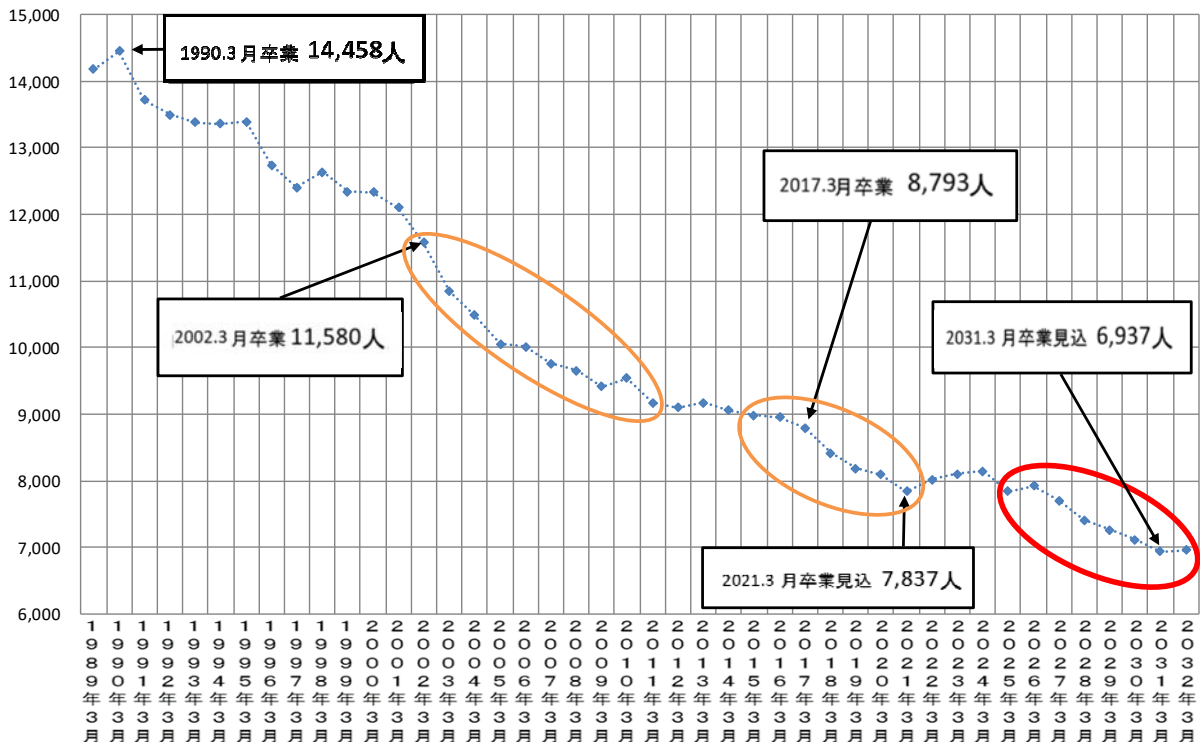
平成30年1月25日

佐賀県
http://www.pref.saga.lg.jp/

1

県内中学校卒業見込者数の推移(国公立中学校)

国公立中学校卒業(見込)者数の推移(1989年3月卒~2032年3月卒) 2017年5月1日現在



- (注)
- ① 2017年3月までは隔年5月1日現在の学校基本調査による中学校卒業生数である。
 - ② 2018年3月~2020年3月までは2017年5月1日現在の学校基本調査による中学校在籍生数である。
 - ③ 2021年3月~2026年3月までは2017年5月1日現在の学校基本調査による小学校在籍生数をもとに、2015年度~2017年度の流出入率の平均値を勘案したものである。
 - ④ 2027年3月以降は2017年4月1日現在の推計人口である。

県立高校(全日制)配置・学級数の状況(2017年度)



1学年の学級数	学校数
7学級	3校
6学級	7校
5学級	7校
4学級	5校
3学級	12校
2学級	2校
計	36校

学校規模の縮小には課題あり！

「学校小規模化」の課題

1.学校の活力に係る課題	生徒数が少なくなると、学校の学習活動や学校行事等において、生徒同士のふれあいや切磋琢磨の機会が減少し、社会性や協調性を育てていくことが難しくなる。
2.学習指導上の課題	小規模校では教員数が少なくなり※、生徒の興味・関心や進路等に応じた多様な選択科目の設定や、習熟度別や進路別の少人数指導など、生徒に応じたきめ細かな指導が難しくなる。 (※高校標準法では、収容定員数を基本に教員数が算定される。)
3.部活動の課題	部活動については、生徒数が少ないため部活動の種類が制限され、野球やサッカー等のチームスポーツでは、部員不足から単独チームでは公式戦に出場できなくなる。

<学級数と部活動数>

1学年 当たり 学級数	学校数	部活動数平均		
		文化系	体育系	計
7学級	3	11.3	15.3	26.7
6学級	7	10.0	12.4	22.4
5学級	7	10.3	11.7	22.0
4学級	5	9.6	10.2	19.8
3学級	12	7.2	9.6	16.8
2学級	2	6.5	8.0	14.5
県全体	36	9.0	11.0	20.0

学校規模の縮小

県内中学校卒業見込者数及び学級数見込み

	2021年度	2031年度	増減
中学校卒業見込者数	7,837人	6,937人	▲900人
県立高校の総学級数	141	125	▲16
平均学級数	4.4	3.9	▲0.5



学校の規模が縮小する中で、魅力と活力ある学校づくりが必要

5

県外高校への流出・流入

(2017.3)

県外への流出数		県外公立	県外私立	合計
		48	355	403
要因 推定	スポーツ	2割程度		野球、サッカーなど
	上記以外	8割程度		進学、地理的要因、転居など

※合計403の地区ごとの内訳：旧東部 216 / 旧中部 82 / 旧北部 34 / 旧西部 71
→福岡県との県境である旧東部地区が多い傾向にある。

県内への流入数		県内公立	県内私立	合計
		120	289	409
要因 推定	スポーツ	2割程度	スポーツ	2割程度
	上記以外 (地理的要因 転居など)	8割程度 (5割は地理的要因)	進学	6割程度
			上記以外 [地理的要因、転居など]	2割程度



県外の公立・私立高校に400人程、流出しており、公立・私立高校ともに、学校の魅力アップが必要。

6

魅力と活力づくりについて

●魅力・特色ある学校づくり

- ・さがを誇りに思う教育
- ・ICT教育の推進(タブレット・電子黒板の活用等)
- ・不登校・発達障害等多様な生徒への対応(太良高校・厳木高校) など

●部活動による魅力づくり

- ・佐賀工業(ラグビー)、伊万里商業(ホッケー)、多久高校(スポーツクラ イミング)、佐賀北高校(書道)、佐賀東高校(演劇) など

●地域との連携(地域と一体となった取組)【太良高校】

- ・地域教育連絡協議会の設置
(町長を委員長として学校と地域との連携等を協議)
- ・体験学習(地元の農林漁業・福祉・サービス等の事業所での実習) など

●他の高校との連携

- ・部活動や学校行事等を合同で実施し、活力向上に繋げる。

7

今後の展開(案)

●「学校と地域の連携・協働」

地域とともにある学校

地域に根差した魅力ある学校

地域がしっかり学校を支え、その中で様々な学び・体験ができ、人間力・生きる力を身に着けられる魅力ある学校

- ・学校と地域をつなぐ組織(保護者・地域住民・団体等)
- ・小中高連携(部活動・体験学習等)
- ・地元事業所等での体験学習
- ・地域活動への参加(イベント・ボランティア・放課後子供教室等) など

8